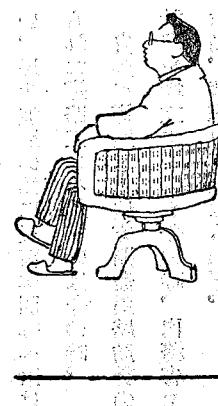


# 漫録



## 新設された土木部と新部長

田

中

生

府縣廳の土木課を内務部から獨立して土木部に昇格せしめ、その部長には地方技師を充當して、土木行政の進捗を期すべぐると言ふ理由で土木俱樂部を設置し、所謂團體運動の力圖ると共に地方土木技術官優遇の途を開けとは、慥か大正十四年度に開かれた土木主任官會議での主張であつたかと考へて探つた、其の運動効を奏したものか、這般地方官々制の改記憶する、其の會議では多數の賛成を得て遂に行政調査會の正にかつて、内務大臣が必要と認むる府縣には土木部を設

け、部長には書記官又は地方技師を以て之に充つること爲つた。

内務大臣が土木部の設置を必要とする府縣の選擇に就ては隨分問題を起した、政治家の技術官は我が府にも我が縣にもと隨分運動したらしい、府縣豫算の總額と之に對する土木費の割合から土木部設置の必要を力説した者もある、併しながら土木費が府縣豫算の大部を占むることは何れの府縣も同一であつて、此論法で行けば總ての府縣に土木部を置かなければならぬことゝ爲るが、官制が特定府縣に設置することを規定した以上は、此方法に依つて選擇することは出來ない、某氏等は現制度の維持者であつて、特別の事由がなければ府縣行政の統一を缺く嫌のある、獨立部を設くるの必要は無いと言つた調子で、次田土木局長の選擇方法を傍観してゐた、遂に土木局は土木行政の繁閑を標準として土木部を設ける府縣を選擇して見たが、ソーすると六  
大都市を管轄する府縣であつて、其の選に漏れるものが出來てくる、かうなると市行政の監督に手を焼いてゐる六

大都市管轄府縣が承知しないことにも爲る、又は等の府縣と理屈攻めの標準に合格した府縣とを合せて觀ると餘り多過ぎる嫌がある、そこで土木局は、六大城市管轄府縣に限定する方針を探つて省議を求めたそうだが、之には隨分局外に反対があつて議が纏らない、遂に關係局長やら次官政務官の幹部連が、濱口内相の前で論議した結果土木局立案通りと爲つた譯で、此制度の制定に奔走した技術官連は、次回土木局長奮闘の勞に對し謝意を表すべきであらう。

土木部獨立の結果對内務部長關係が、旨く圓満に行くかは未知數である、茲では土木部設置の可否を論しないが、土木部の設置に伴つて從來土木課の主管した事項が對内務部との關係に於て増減してゐる事に注意して置かねばならぬ、東京と京都及神奈川が都市計畫に關する事項を土木部の所管に移したのは一寸眼に着く、理屈から言ふと都市計畫の事業の全部は必しも土木に關する事はかりでは無い、併し現在實際に行つてゐる都市計畫事業は殆んど土木事業であると言つて過言ではない、此行政の實際を基礎として

分掌事項を決定したのは大出来と評してよからう、同じ道路工事を執行する場合でも、之は都市計畫事業として執行するから内務部が主管する、道路法に依つて執行するから土木部が擔任すると言ふ様では實際の行政が出来るものでは無い、又計畫は内務部でやるが執行は土木部の所管とするのも、徒に技術官を養つて圖面に路線ばかりを引かして空ら喜びに日を費さしてゐるやうなものである、某縣では都市附近に施行する土木工事の總ては都市計畫に關係があると言ふので、總ての土木事件を其の機關に合評せしめて土木事業の進捗を妨げてゐると言ふことであるが、此様な都市計畫居士も亦困つた代物である。

從來土木課が主管した官有土地水面に關する事項を、内務部の主管に移した所もあるが、大體は從來通りと言つて可い、其の分課方法に至つては一つも合理的のものは無い、一言で評すると出鱈目の分類と言ふべきである。

▽ △  
土木部を設置することは、或は地方土木技術官の優遇方

法と爲るかも知れないが、部長と課長、餘り懸隔は無い、殊に今度新任された部長の顔ぶれを觀て一層その感を深がらしめる、伴東京にしたつて、明治三十一年の東大出であるから、牧彦七博士やら臺灣の土木局長であつた田賀奈良吉君と同期生で、今更土木部長と爲つたことを喜ぶ歳でもない、若し法科でも出ておれば太田警視總監やら、小橋湯淺前内務次官位の所に行つてゐる筈だ、村山京都にして牛島大阪にしても同様であつて、同期卒業の法學士には勅任官が澤山ある、牛島君は次田土木局長やら松村警保局長と同期であるが、是も亦土木部長——餘り感心したものでない、しかし三輪神奈川やら濱江愛知があるから、此邊は或は土木技術官優遇と爲るかも判らぬ。

併し土木部長と言つた制度を探らなくつても技術官を優遇するには別の方法がある、技師に部長なんて事務官的の地位を與ふべきで無い、コト言ふと土木俱樂部の連中は怒るかも知らないが、事務官が技術の範圍を冒す事の出來ないのと同様に、技術官も亦事務官の範圍を冒すべきでない、

は相互に不得策である、不得策ばかりで無く人間の能力範圍は制限されてゐるから兩者を兼備することは普通一般人の克くすることの出来ない所であらう、殊に現今の土木行政は法律經濟學上に於て幾多未解決の難問を包藏してゐて、之を研究し意見を決定することは専門の研究家に於てさへ尙至難とする所であるのに、技術家が之を爲し遂げむとするのは、恰も木に據つて魚を求むるの類では無いにしても、人物經濟上からして餘り感心した策でない。

技術官を優遇する方法は事務官が獲得することの出来る官等を技術官にも附與する途を講ずることであつて、地方技術官にも内務省の技術官にも相當の實力と經歷効勞を有する人には遠慮なしに勅任官とするの途を擴大し、今のやうな窮屈な制限を撤廃することにして、其の管掌する仕事の範圍は矢張り技術に止まらしむると言ふのが、最も合理的なやり方であつて、夫れを要求することこそ、土木俱樂部の各々が運動すべきことで無からうか。

新部長と爲つた内で、最古參者は何と言つても東京府の伴宜君である。明治三十一年東大土木學科を卒業し、直ぐ陸軍技師と爲つて築城本部に勤めたのを振出しに、明治三十七八年の戰爭やら青島守備軍に附屬してゐたが、大正六年には青島守備軍民政部土木部長と爲つて同年の暮に官界を退いた。言はゞ君は軍事的土木技術家として、其の半生を送つたのであるが、大正九年再び東京府技師と爲つて再度の官仕へをすることに爲つた。

温厚な君子人で土方相手には向かない、武装して命令せなければ土方が使へない位である、殊に無口であつて饒舌家の多い東京府會を相手とすることは、或は君に至難を強ゆるものかも判らない、明治四十三年歐洲に出張して彼地の土木技術を研究したが、他の歸朝者のやうに十年昔に出張してゐながら新智識の所有者のやうに、振れ廻るやうな輕薄者では無い、多數の土木主任官の内で穩健着實の第二人者であろう、東京府就任後は餘り部下の養成に盡さないそつであるが、陸軍時代は隨分部下の面倒を見だものであ

つて、今も尙其の徳を敬慕してゐるものが少く無い。

君が無口でありながら得意るのは、青島民政部時代に同地の道路に簡易な鋪装をした其の苦心談である。同地で苦心した経験は東京府に應用して貰ひ度いのである。

が、君が着任早々監督

して行つた京濱国道の鋪

装は、既に損壊してゐる

所を多數見受けるのであ

つて、收博士なぞをして

東京府と市の執行する鋪

装工法を比較して貰ひ度

むるのは筆者の遺憾とする所である。或は之を君に責むる

のは無理かも知れないが、東京府の道路工事は、いつも當初は大々的にやるが、常に維持修繕やら管理行爲を放任し

てる嫌があるので、折角擴築した重要府縣道に鐵道の平面交



伴

村山京都・大阪の土木

宜

課長から京都の土木部長

氏

へ何ぼ土木部長でも世

間では左遷されたやうに

離し立つてゐるが、事の真相はそうでは無い、實は京都や大阪よりはモ少し格の上な土木部長に推薦されたのである。だが、氣の毒なことには昨年愛妻を失つての遺兒は母堂の手で養育されてゐるやうな、眞に同情する境遇の人を爲

又を許して見たり。筆者の満足しないことが頗る多いが、毎晩九時まで玉突に耽ることも、君の勞苦慰安の爲にする道樂として誰も咎めないであつたが、帝都の復興も漸く完成せむとし第二次都市計畫事業をやらなければならぬ機運に際會してゐる。君の蘊蓄を傾けて大々的奮闘して貰ひ度い。土木部長は△、土木課長は△、

京府の機運に際會してゐる。君の蘊蓄を傾けて大々的奮闘して貰ひ度い。土木部長は△、土木課長は△、

東京の機運に際會してゐる。君の蘊蓄を傾けて大々的奮闘して貰ひ度い。土木部長は△、土木課長は△、

せむとし第二次都市計畫事業をやらなければならぬ機運に際會してゐる。君の蘊蓄を傾けて大々的奮闘して貰ひ度い。土木部長は△、土木課長は△、

つたのに胚胎して、母堂が關西を離るゝのを嫌つた爲に、  
その推薦を断らなければならぬ、事情があつて京都に据る  
ことを爲つたのである、親に對する孝心の爲に公的向上を  
犠牲に供した、其の眞情に筆者は渺なからず同情を寄する  
のである。

君は明治四十一年京大土木工學科の出身だ、卒業後直に  
和歌山縣工師と爲つたのが官吏生活の始めてある、居るこ  
と四年で同縣土木課長と爲つたが、大正六年福井縣土木課  
長に轉じ、八年内務技師と爲つて牧博士等と共に道路技術  
に從事したが、十年時の兵庫縣知事有吉忠一の懇望に依つ  
て兵庫縣土木課長と爲つた、有吉知事の轉任後大阪に轉じ  
今回母校の所在地京都に轉じた譯である。

和歌山縣時代は京都や大阪にゐた京大出の連中と隨分遊  
だらしない鮑掬ひの隠し藝は何所で習つたか知らないが優  
秀なものだ、内務技師時代は折角の隠し藝も餘り公演する  
機會もなかつた、夫れと言ふのは例のライオン牧博士が側  
にゐて、内務技師教育をやつたからである、内務技師は地

方廳が提出する設計書の金額に誤算があろうと無からうと  
は問ふ必要は無い、夫れよりか地方廳が採つた工法が技術  
上經濟上適當であるかを睨めば十分だ、と言つた調子で君  
の審査方法に干渉するので、君が地方廳から觀た内務技師  
とは非常に違つたらしかつた。

有吉長官に懇請されて兵庫に移つたものゝ、此處には又  
隠れた大技術家——遠の昔退官した筈の老技術家が囑託の  
名義で雇入れてあつて、土木課長室に頑張つてゐる、此亦  
姑こそ老先輩であるので普通の囑託扱にする譯にも行かず  
土木課長としての自由行動は自然と制限さるゝ譯、夫れで  
も神明間國道の改修を計畫した所に、君が柔順に見せて目  
的とする或物を捉まむとする特殊の才能の持主であること  
が垣はれてゐる、此特殊才能は恐らく土木主任官中の異  
彩であらう、併しそが亦君の瑕とも言へる、男性的に論戦  
をせないで、何時の間にかに目的を達してゐるのが、人の  
目には陰謀性の持主のやうに映するからである。大阪府に  
轉じた後、京都大阪の兩府が京阪電車の古橋の爭奪戦をや

つたときも、例の調子で西池京都に敬意を表しつゝ遂に大阪に奪ひ取つた手腕は慥に怪腕である。

大阪に轉じて兵庫のやうな小姑のなかつたのは、君をして腕を振はしめた、夫れ

は大阪と堺の兩市を中心

とする放射道路改修の計

畫であつた、道路調査會

を設置して改良計畫案の

諒解を求め、臨時府會を

招集して協賛を得る所ま

で溝ぎ附けながら、之を

捨て、京都に行かなければならぬのは、さぞ遺憾

であらう。

併しながら京都と言つて夫れ程見捨てたものでは無い、否な御大典を前に控へ、丹後大震災の復興に迫られてゐるとき、是等事業の執行に當るのは大阪より以上の大役であ

佐賀の片田舎から都らしい大阪に飛で來た牛島航君、人は破格の榮轉のやうに言ふが、大阪府の土木部長位を喜んでゐる君でもあるまい、明治四十二年東大土木工科の出身、北海道廳技師を派出しに山口熊本の土木課長を勤め、大正

る、君を此處に持つて來たのも此大役の遂行には君を措て他に適當な人が無かつた爲であらう、殊に君の美點であり缺點である男性的に論戦しない性質は、恰度京都人間を相手とするには相應しい、

好漢、京都の土木行政の

爲に一奮鬪をして貰ひ度

いそして西池君時代に架

長橋の計畫はしたものと設

計が出来なくつて、今に

まだ捨てゝある淀川や木

津川大橋の完成を一日も

早く片附けて貰ひたい。



十三年佐賀縣と言ふ片田舎に左遷されたのが、復活して大阪に來ただけで、若し左遷と言ふ浮目に遭つてなかつたら、ものと先に大阪位には來てゐる筈である。

前任者村山君と違つて男性的氣風があり過ぎる、實に北海道で十年間も勤務した勢であらうが、斗酒尙辭せないと言ふ酒豪である。佐賀時代に中耳炎を病んで日本酒は罷めたと言つてゐるが、夫れでも旅行には片手にウキスキーセを提げてゐる。佐賀の料亭には牛島用のウキスキーセが備へてあると云ふ位に、夫れ程の呑手だ、君の部下で此度土木課長と爲つた。泰助奥村と共に痛飲したら何を仕出すか判らないとは、友人痛心の種となつてゐる。

山口縣時代には今の中川知事の下に在つて、同縣下全般に亘る道路改良計畫を樹立した、最近竣功せむとしてゐる。下關長府間の國道改良やら、山口の國道改良やらは何れも氏が計畫したものであるが、中川知事山口を去り牛島君獨り残されての後は、政黨と結合して道路計畫を定めたとか言ふ様な批評を受け憤慨遣る方ない有様であつたが、遂に

熊本に轉じた、熊本は人も知る政爭の甚しい所で縣廳の小使に至るまで政黨派の區別のある所、此處へ君が着任したのだから世評は區々だ、何一つやつても政黨的色彩を以て批評されるのであつたが、無賴着に男性的に行動して大埋立工事を企畫したことにも崇られ、遂に兎角の批評を受け避ける積りか餘り仕事をしなかつた。

今度大阪に來て「田舎廻りの旅役者此度浪花の都に罷出で一芝居打つことに相成候に付御援助被下度候」と柄にも無いことを言つてゐるが、贊六は君のやうに竹を割つたやうな性質の持主では無い、表面柔順に出てゐても心では惡いときも、

中川はんて判らない人だつセ、あの優しい村山はんを京都に追ひ出しやはつて、佐賀の田舎から三府の土木部長を連れて來やはるなんて、大阪を馬鹿にしたものであります。

と早や陰は言をつてゐる。大阪市役所には海千山千の大技術家が澤山ゐる。何れも君の先輩であらう、是等の連中がやつてゐる仕事を監督することは實際困難に違ひないが、豪放磊落な君は却つて是等の人誤解さるゝか賞揚さるゝか末知數である。餘り豪放過ぎて技術家の本能を忘れてはならぬ。呂賀で忍で來た鬱憤晴らしに大に手腕を振つて折角村山君が樹てた放射道路の完成に盡力して貰ひたいと同時に、君も亦大阪の爲に一大事業を計畫して悪口を言つた贅六を喜ばすことが肝要である。

大阪市役所には海千山千の大技術家が澤山ゐる。何れも君の先輩であらう、是等の連中がやつてゐる仕事を監督することは實際困難に違ひないが、豪放磊落な君は却つて是等の人誤解さるゝか賞揚さるゝか末知數である。餘り豪放過ぎて技術家の本能を忘れてはならぬ。呂賀で忍で來た鬱憤晴らしに大に手腕を振つて折角村山君が樹てた放射道路の完成に盡力して貰ひたいと同時に、君も亦大阪の爲に一大事業を計畫して悪口を言つた贅六を喜ばすことが肝要である。

十八ヶ間敷屋と言はるゝ知事の下に、居据つた儘、土木部長



在る京都市や名古屋市の  
府  
技師と爲つて歩きながら  
吾々より先に土木部長を  
失敬したと言ふ羨望の聲  
だ、併しながら市役所にて  
島牛  
氏航  
長  
大  
阪  
土  
木  
部  
長  
居ろうと町役場に居ろう  
と役所の上下階級で技術  
家の手腕を評價すべきで  
居る、羨望の聲は弱者の嘆聲で言ふ方に罪がある。

無い、内務省の技師だつて市の技師より劣つたものが澤山  
名古屋市を辭して群馬縣技師と爲つたのは太正六年、夫  
れから愛知に轉じて滋賀縣土木課長と爲つたのは八年であ

に昇格したのは兵庫の田邊良忠君だ、同輩に言はしむると  
彼は幸運兒だと言ふ、他の部長連は大學を出ると、直ぐ地方  
の技師と爲つて今の地位を得るに至つたのに、彼田邊は明  
治四十三年京大理工科を出ると地方廳監督の下に

る、慥か道路改良會が東海道改良宣傳をやつたとき、君の手を煩したのであつたが、その旅行に動機したのか、君が滋賀縣に残した事業は實に偉大なものがある。彼の東海道の難路と言はれた鈴鹿峠の改修も君の事業だ、瀬田の大橋小橋の架換やら、御幸橋の架換、滋賀縣下道路を近代的のものとした其の効績は、筆者が推賞して措かない所である。

當年十三年に柄本縣土木課長と爲つたが、其の年の暮には早や兵庫縣土木課長に轉じたが、滋賀縣に於ける効績が餘りに著しいので弱者でない誰もが、其の榮轉を當然事としたのは怪むに足らない、兵庫縣に轉じた後はまだ新味を拜見しない、眞逆山縣長官の權幕に恐れを爲して手も足も出ないのでは



無いか、夫れとも例の小姑老技師の囑託に遠慮しての結果か、近時又其の老技師囑託が廃えたと言ふ通信があつたが、内閣が其の府縣の土木行政全部を執行せしむる爲に任命した土木部長を差し置いて、知事が土木部長を牽制するやうな私設的技師を置くことは、縣政上べに考慮すべしことであつて論議を他に譲るが、山來君は謙遜と言ふのでは無いが遠慮兵庫縣土木部長に譲るが、山來君は謙遜と言ふのでは無いが遠慮勝の所がある、官吏は俸良忠良祿も渺々と會社員とは比較にならぬ、唯だ威張るだけが官吏をしてゐるものゝ心を慰むるものであることは、長官山縣が常に君に訓示してゐるところで、大抵の知事は部下に對して威張るなど訓示するのが例であるのに、君の所の知事丈は違つたことを言ふ、夫れにまた遠慮

勝ちなのは君の缺點と言ふべきか、併し注意して置く山縣  
知事のやうに威張り過ぎても世間は迷惑するだけ、諸事中  
庸が肝要である。

**兵庫監着任早々君**が遭遇した城崎や豊岡の復興事業でも、  
都市計畫は俺の専門だと人も許し自任してゐる知事の下では、  
君も手を出す餘地はなかつたであらうが、兵庫縣程上

木事業を起す餘地ある縣は餘り無い、殆に財政も比較的豊富であつて其の執行も極めて容易である、再び滋賀縣時代の往時を繰返して縣民利福の爲に奮闘するのが、蓋し土木部長と爲つた義務であらう。

三輪周藏君が内務技師より神奈川縣土木部長と爲つた、地方技師としての手腕の程は全然未知數である。由來内務省の技術官から出て府縣土木課長と爲つた連中に非常な好評を博した者のある事を聞かない、技術監督の職に在つたものは、批評眼を有してゐるが建設的能力に缺けてゐる、直轄工事の任務に當つてゐた者は、理思的技術の應用に缺

のと、社交的才能に缺けてゐるので、直ぐ行かないものである。  
三輪君は兩者兼備の人であることは、君の経験に依つて  
窺ふことが出来る、大正四年京大工科を卒業して内務省大  
阪土木出張所に傭はれ、吉野川改修工事に従事したが、同  
七年に大阪府技師と爲つて地方土木技術の實際に携り、九  
年には内務技師と爲つて技術監督の方面を擔任したことによ  
つて階附けられてゐる、併しながら吉野川改修工事分擔  
時代やら大阪府時代に君獨特の手腕を發揮したことを見か  
ないから、筆者が其の手腕の程を未知數と言ふ所以である。

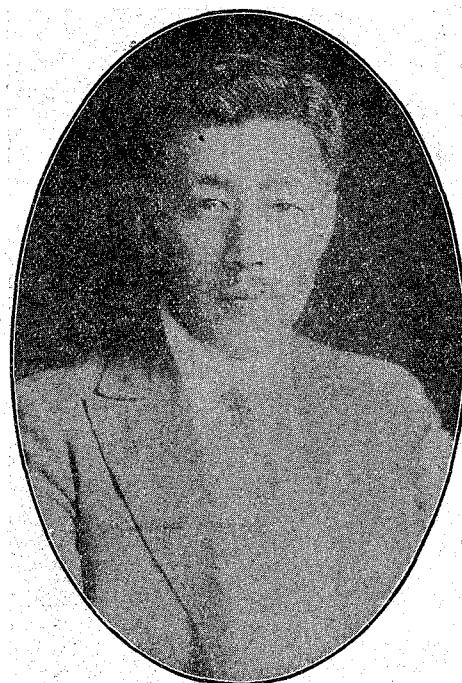
君を送る宴席で、第一技術課長の島君が送別の辭を述べて、吾人の所謂兩者兼備の人たることを推奨した、併しながら夫れは大阪府で同じ櫃の飯を喰つた推薦人としての理由の一端で普通の挨拶に過ぎないものと思つた、蓋し島君の自身も兩者兼備の人であるが、技術課長と爲つて以來君の眞手腕を拜見しないから、筆者は君の挨拶を直に裏書する譯には行かぬ、依然として三輪君の手腕は未知数である。

古い嬉しい量見ではあるが、學閥を尊ぶ内務省で君が東大出の技術官連中に受けの良くなかったことは事實だ、しかし之は學閥是れ官吏の生命と心得てゐる内務省の役人の頭が間違つてゐることで君の負ふべき責任では無いにしても、君にも亦一つの癖がある

打算的のものであつて、

其の癖の勢で排京大の氣勢を助成したかの觀がある、つまり君が前任者高田景君のやうに意氣で東大出身を朋友として容れるだけの度量が無かつた

ことに惜む所があつたの



氏藏周輪三  
長部木土縣川奈神

局の大書記官として謳歌さ  
意味に於て君よりは一層の  
ら君の管掌せなければなら  
る、京濱運河の開設、相  
模川の水電計畫、蘆の湖  
の發電等々と數へて見る

と若の爲すべき事業は前途極めて多忙だ筆者の苦言に鑑み助平根性を捨てて切に奮闘を祈る。

卷之二

知縣土木部長の濱江武君

は、自個的打算の觀念を排して奮闘すれば唯一の土木部長では無からうか、若し筆者の見解が當つてゐたとすれば若と爲るであらう。

月女土木課長の死後を繼承したが、土木部長制度の制定を  
と爲つたのを官界の振出しとし、八年福岡縣技師と爲り五  
ある、大正四年九大土木工學科を卒業して、製鐵所技師

豫斷も行はれた、土木課長の交迭に愛知縣に轉じ遂に部長と爲つた。口善惡ない連中は、順風に帆をあげて富籠に當つたやうなものだと評してゐるが、吾人はその批評の當つてゐることを證明したい。

福岡縣で五月女君

の後を襲つたときが君の

仕事ではなかつた、遠賀

川の架橋と言ひ、折尾黒

崎間國道の改良を始めと

して、君が福岡縣下の土

木行政に盡したことは頗

る多い、此手腕に惚れ込

んで柴田知事が愛知に君

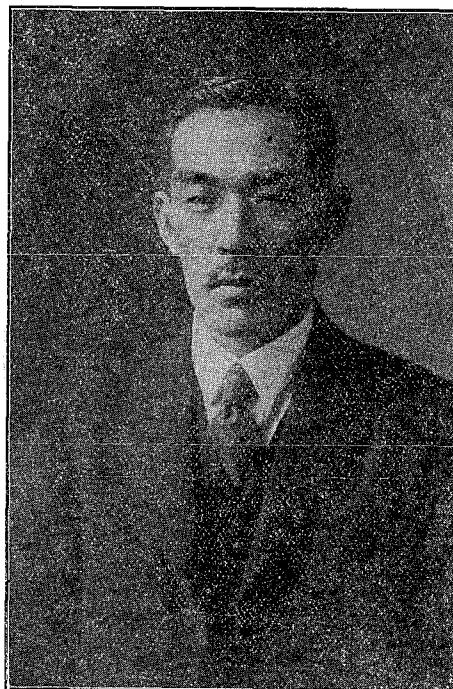
を懇請したのも、畢竟君の力の然らしむる所であつて、富

籠の類では無い。

瀟洒な青年部長、前任者田中三郎君とはスタイルから大

分違ふ、違ふところに君に青春の氣が溢れてゐる證據だ、

政黨的色彩を以て這次の交迭を見た新聞は、知事の言ふまゝに爲る土木課長を連れて來たと評したそつだが、夫れは君を知らないものゝ言ふことである、曾て福岡縣時代に府縣道路線の認定處分をしたときも、當時の土木局長長岡隆一郎氏をして、  
路線認定の苦心談に感服せしめたやうな腕の持主である、縣會議員に對する答辨は、或は田中君に劣るかも知れないが、海千山千の土木課長と違ふのは當然であつて、寧ろ技術官としては夫れの方が當然であるかも知れぬ。  
九大出身の工學士が、稍ともすれば老成振つてゐる東大や京大出身者を凌駕しやうと努めてゐることは、筆者は其の意氣を諒とし我が技術界の爲に大に氣勢を上げさせ度い



愛知縣土木部長 江口武氏

出身大學の古いと新らしいとは問題に爲らない、要は個人の手腕如何にあるのだ。瀧江君やら此間博士と爲つた内務技師の鈴木雅次君やらが、一意專心研鑽に耽つてゐることは、發達進歩遅々たる土木技術界の爲に推奨して已まない。

由來名古屋は人間の悪い所と言はれてゐる、君の前任地のやうに九州男兒を以て任するものも尠いであらう、口では世辭を言ふが、其の眞意を捉まへるのは困るのは名古屋人間だ、少し飲めば自ら湧いて來る君の氣焰で、名古屋人間は懐かされないであらう、併しながら注意深い君の頭で愛知縣土木行政の爲に青春の氣を吐いて貰ひ度い。



遠慮なしに筆を走らしたが、當つてゐるかるないかは、本人と世評に委すより外はない。併し土木技術家の多數が希望して出來た土木部長制度も、土木課長制度と餘り大差の無いことが判るであらう。之も地方土木技術官勅任制度に進む一過程として已むを得ないとしても、新土木部長に選ばれた者が、上手にやると下手にやるとは、勅任官問題

を解決する唯一の資料と爲るから、後進の爲に最善の注意と最大の努力を以てやつて貰ひたい。

東京の郊外での實話——或る家に巡廻した警官が、折柄その附近でセツセとやつてゐる東京環狀線道路の改築工事を指して、非常の場合自動車ボンブが走るのに都合よくする爲に道路を擴げるんだ、と得々として話した——蟹は自分の形に似た穴を掘る。警察官の第一義的見方からすれば、そんなに考へるのも無理はないかも知れぬが、一番多く民衆と接觸する官吏としては、もう少し道路の使命を完全に理解して貰ひたいと思ふ。そんな話を眞に受ける程民衆は無智ではないだらうが、道路は何が故に改良を必要とするかに就て完全なる智識の無い警察官が居ることが、我々を索然たらしめる。警察官の常識涵養に就て當路者の一考を煩はしたい。(十八公)